

議会情報便

カワサキ



No.214



発行日
平成31年4月30日
発行
川崎町議会

編集 議会広報・広報委員会



「令和の主演」

2P 前川小校外学習
まちの未来に3つの提案

6P 新年度予算
自主財源確保がカギ

16P **町政を問う**
施政方針の具体策を

24P 特別企画
町民とコラボレーターで

自然でうるおう 私たちのまち

校外学習



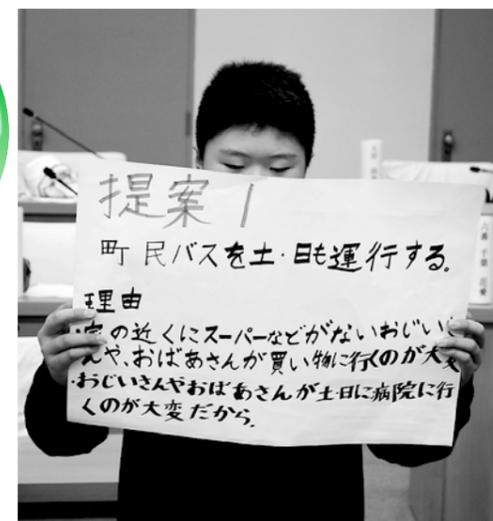
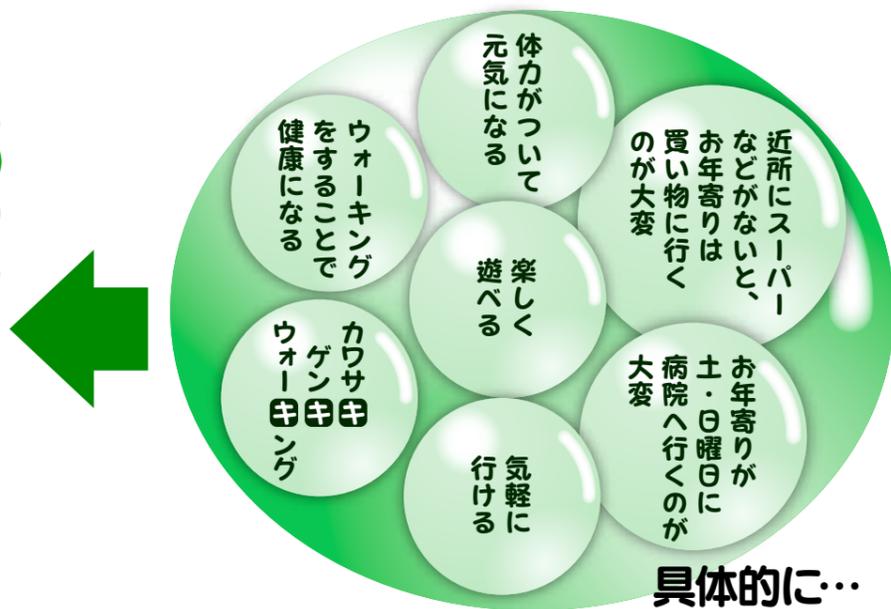
前川小6年生 活発な質疑と提案

前川小学校の6年生7人が、卒業を控えた2月21日、校外学習のため町議会を訪れました。出席した議員へ活発な質疑をしたり、「わが町の未来」をテーマにプレゼンテーションを行い、充実した日となったようです。

まとめると...

- 元気、健康のもとがあるまち
- 長く住みたくなるまち
- 体も脳もきたえられるまち

そんなまちを



議会 議会で話し合うとき、一番大切にしていることは何ですか。	農工商の展望 川崎の未来の農業をどう考えていますか。工業や商業の将来展望は。	お年寄り お年寄りのためにやっていることは何ですか。	子ども 子どものためにやっていることは何ですか。
--	--	--------------------------------------	------------------------------------

町民バス 中学校の部活動に合わせ変更は考えていますか。	税金の使い道 町の税金は何に一番使われていますか。	道の駅計画 みちのく公園の近くに「道の駅」をつくる計画はないですか。
---------------------------------------	-------------------------------------	--

主な質問

防災避難所の整備
各避難所を万全に

「道の駅」
建設事業に着手



分館等生活改善事業
3261万円

※イメージ写真(角田市)

道の駅事業構想計画
200万円

防火水そう
青根地区に



消防防災施設整備事業
3190万円

中原住宅造成に



町営住宅整備事業
1億2967万円

運営補助で



シルバー人材センター
運営事業補助金
1650万円

良いものにするため



優良繁殖牛
生産推進事業
175万円

川崎小・川崎中の
雨漏り修理に



学校施設整備事業
2650万円

一般会計
予算

50億4000万円

新しい
事業

3月
会議

3月会議は、3月5日から18日までの会期で開きました。
町より提案された議案は、条例改正案等5件、新年度予算案8件、平成30年度補正予算案8件、農業委員の人事案11件、議員発議案3件、新年度補正予算案1件を審議し、すべて原案どおり可決しました。
一般質問には7人が町政を質しました。

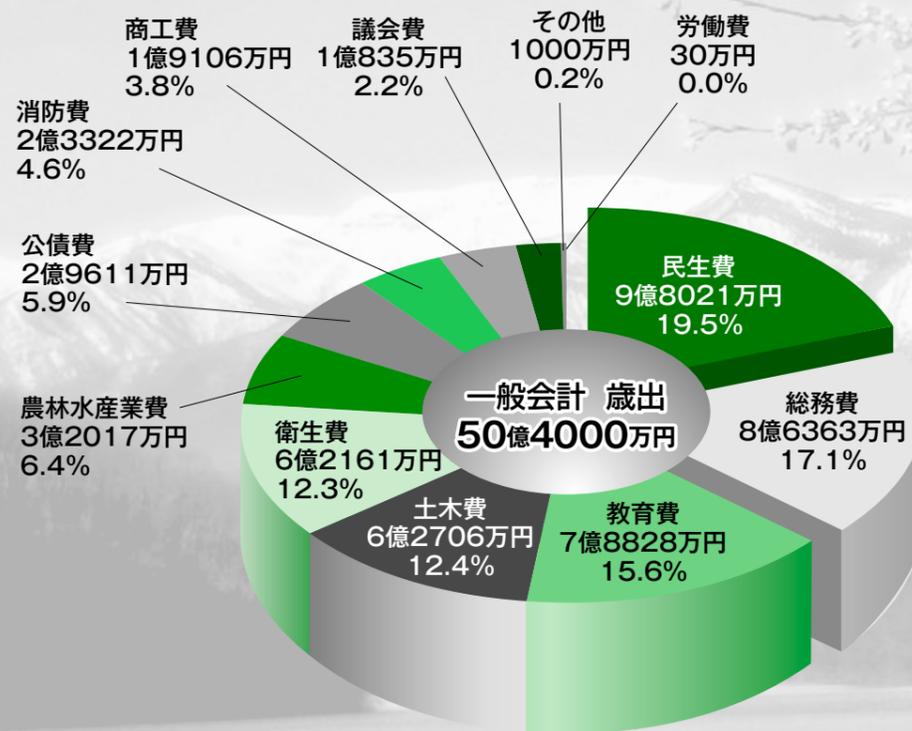


いままでの事業も
継続しています。
ここでは新しく
行っていくものを
一部紹介しました。



社会保障関連費 全体予算の35%

※ここでいう社会保障関連費は、一般会計の民生費、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計を合算したものです。

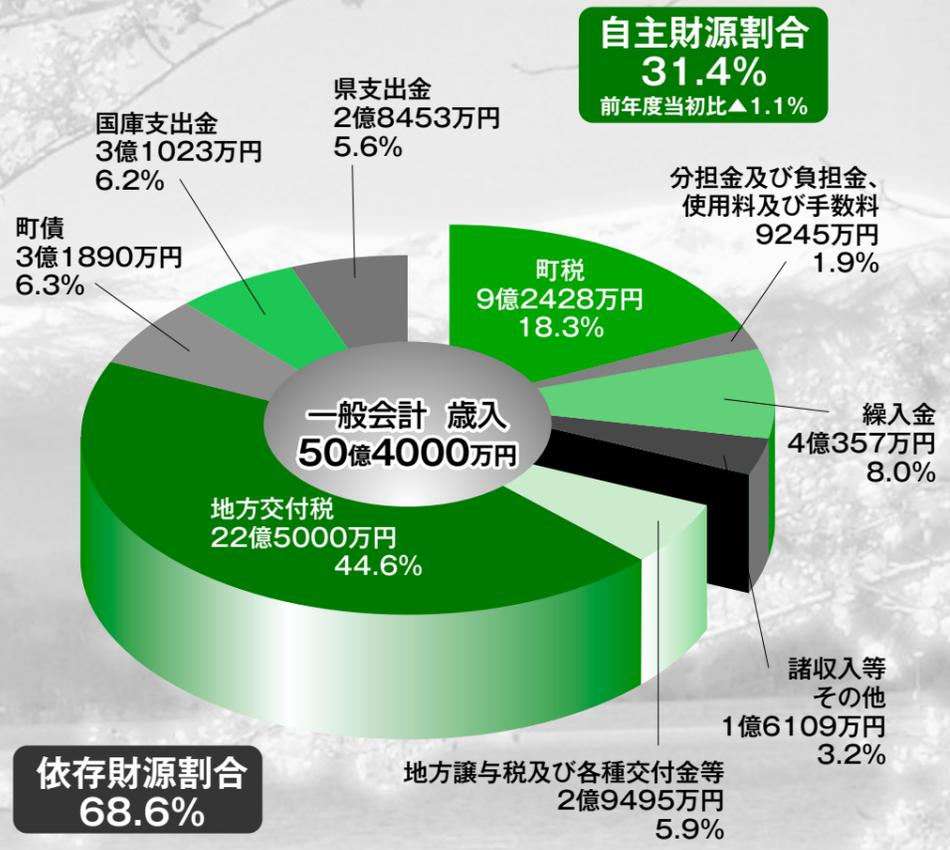


歳出

新年度は、4つの選挙執行経費の計上で総務費が1.2%の増。土木費は町営住宅地造成事業開始で1.4%の増。民生費は国民健康保険事業の県単位化に係る操出金が大幅に減少し、2.1%の減となっています。

自主財源確保がカギ

新年度 予算



歳入

一般会計の概要

総額で50億4000万円となり、前年度当初予算より1億1000万円多い2.2%の増加となっています。町税や手数料などの自主財源割合は31.4%と、前年度より1.1%減少しています。

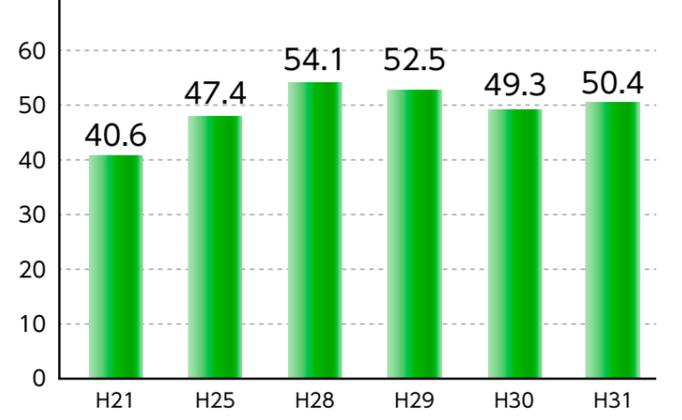


特別・企業会計予算

項目	金額	対前年度増減率
国民健康保険特別会計	12億1381万円	19.6%増
後期高齢者医療保険特別会計	8200万円	3.4%減
介護保険特別会計	10億7750万円	1.1%増
温泉事業特別会計	1156万円	2.4%減
公共下水道事業特別会計	5億1240万円	7.8%増
病院事業会計(支出)	1億794万円	22.0%減
水道事業会計(支出)	3億1936万円	28.1%増



一般会計当初予算の推移



土木費 中原町営住宅等整備事業で9984万円増、橋梁維持費で4300万円増

消防費 消防団員用防火衣等購入費704万円を計上

公債費 (借金返済) 小中学校エアコン設置工事などで、長期償元金償還金3674万円増

国庫支出金 町営住宅整備事業の補助金6200万円を計上

寄付金 ふるさと納税推進で前年度比1800万円増の3000万円を計上

町債(借金) 指定避難所(分館等)のエアコン整備などで前年度比890万円増

防犯対策にも一役

神崎委員

問 公用車のドライバープレコオーダー設置状況は、防犯対策にもなると思えますが。

答 公用車は60台ありますが設置は1台のみです。交通事故の立証のほか、公用車を運転する職員のマナーチェックにも必要なので検討します。

液体ミルクを

遠藤委員

問 防災備品に液体ミルクも必要ではないですか。

答 ミルクに限らずおむつ、患者さんに使う非常用のもの（酸素等）を保健福祉課とともに精査をしています。また、町で備蓄すべきか、製薬会社等と協定を結ぶべきかについても検討しています。

負担増の理由は

佐藤(達)委員

問 常備消防の予算(仙南広域負担金)が増額となっている理由は。

答 仙南消防本部の人員費と指令システム改修費用によるものです。

新たな加入団体は

沼田委員

問 多面的機能支払交付金補助金は7団体を予定しています。新年度以降、新たに参加する団体はありますか。

答 古閑地区で圃場整備事業を予定しています。前川地区の浪形と槻木の圃場整備事業は、今年の夏で面工事が終了するので、両行政区長に話をしているところです。

機械購入助成の中身は

高橋委員

問 園芸特産振興事業補助金で、機械購入助成として100万円を予算要求していますが、内容は。

答 平成30年度は申請ありませんでした。機械購入助成は、振興作物(たまねぎ、ブロッコリー)の掘取機や植付機等の購入助成を想定しています。

通学路以外も

佐藤(達)委員

問 通学路に限らず高いブロック塀があるが、調査費用は見込んでいますか。

答 通学路内は調査していますが、通学路以外は予定していません。必要があれば調査を行いたいです。



た財源 心かす!!



限られ どっ使う

予算審査

新年度の各種会計予算を審査するため特別委員会を設置し、詳細に審議しました。また、審議後、総括質疑が行われました。ここでは質問の一部を紹介します。

外国人受け入れ対応は

遠藤委員

問 災害時、外国人への対応として、多言語での看板などを設置する予定はありますか。

答 危機感を感じています。翻訳機も必要だと思います。青根などの観光地は多言語標識を設置中です。避難所は今後対応を検討します。

OBにも活躍の場を

高橋委員

問 消防団員は減少傾向にあります。団員OBの活動する場はあった方がいいと思いますか。

答 夜間活動や足場の悪い中での作業など消防業務は危険が伴うため、後方支援や地域の自主防災活動で活躍を願っています。

伝染病への対策は

大沼委員

問 口蹄疫*、高病原性鳥インフルエンザ緊急防除対策用石灰を予算要求していますが、このほかに対策を行っていますか。

*口蹄疫とは、家畜伝染病のひとつです。

答 石灰は病原発生した際に散布するもので、今年度は実施していません。その他の対策は、家畜防除協議会で各畜産農家を訪問し薬剤配布を行っています。

リースへの切り替えは

高橋委員

問 なぜ町民バスはリースに切り替えるのですか。

答 リース契約にする5年間で費用の均等化が図れ、点検も含まれます。安全面も確保できることから予算措置しました。

指導員の体制

沼田委員

問 ゴミ分別指導員等の予算が委託費となったというのですが、詳しく説明してください。

答 長期的に業務がでないといったケースや、欠員が生じても代替えの者を配置してもらえるよう、各指導員に係る予算はシルバークリスタールに業務委託することにしました。

受診率向上対策

沼田委員

問 健診の受診率が例年より低く感じます。今後の対策は。

答 3年間未受診者に勧奨通知をしています。意向調査の結果を基に、引き続き町民に対し周知する機会を増やしていきます。



各計画今後の策定

神崎委員

問 長期総合計画・総合戦略・道の駅事業構想計画で合計730万円計上していますが、来年度以降の考えは。

答 長期総合計画は平成31・32年度にかけて策定する予定です。現計画は32年度までの10カ年で、委託料が1600万円でした。次期計画は町民の皆さんにも参画いただき、まちづくりの気運を高める手段にしていきます。

返礼品の考えは

佐藤(昭)委員

問 ふるさと納税が認可制になります。これによる問題は、また、PRや返礼品のアイデアはありますか。

答 返礼品の割合を3割以下にすることをはじめ、現在の運用全てにおいて条件を満たしているため、影響はないと考えています。ふるさと納税を当町の魅力発信の手段と捉え、体験型のプランを増やせるよう取り組んでいます。



審査結果として

完全給食の考えは

的場委員

問 給食費の現状は、かなり厳しいです。増税での値上げは考えていますか。食べべた分の負担が当然だと思えます。完全給食の実施も含め検討が必要では。

答 前回、消費税増税の際に値上げをしなければならなかったのが、今苦しい要因の一つだと思います。第二子以降の無償化とのバランスもあるので、今後検討していきます。

待機児童

遠藤委員

問 町で待機児童はいまですか。また、その要因は。

答 0歳児で3人です。施設の規模や職員数に合わせた受け入れができません。職員を募集しても応募がない現状です。

児童教室の利用負担金差異

佐藤(達)委員

問 実費負担金(歳入)274万円、賄材料費(歳出)は302万円となっており、28万円の差異があります。公金で補う理由は。

答 行事をする際に一部公費で支払っている部分もあり、受益者負担という観点から望ましくないということであれば、今後見直しも検討していきます。

町民意見を反映し

「第6次長期総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「公共施設等総合管理計画」の策定にあたっては、町民の意見を反映してください。

「道の駅」は総合的に

「道の駅」構想計画は、町民の意見を早期に集約して策定されることを望みます。また、観光と防災の拠点にもなりうることから、情報をはじめとする各種インフラ整備を図ってください。

健康を守る取り組み

町民の健康を守り、医療費を抑制するため、健(検)診事業や保健指導は今後も取り組みを充実してください。

要望決議



財源確保を図り

経常収支比率の改善につながるよう、経常的経費の抑制と税収など自主財源確保を図り、健全な財政運営を維持できるように努力してください。

交通安全と防犯に

交通安全意識と防犯の抑止策に有効的なものとして、かつ職員の安全を管理する上でも、町所有車両には安全装置やドライブレコーダーを取り付けるなどの計画と対応を講じてください。

防災意識の向上

自然災害に緊急対応できるよう、町民とともに防災拠点・備蓄品の定期点検をするなど、防災意識の向上に努めてください。

総務民生常任委員会 報告

調査日 2月13日

調査事項① 町税の賦課状況 公平で適正な課税を

【調査結果概要】

町税の賦課状況（平成31年1月末現在値）は、現年度課税分が9億3100万円と前年度同月から1100万円減額調定となつて

います。特に個人町民税は1200万円と大きくなっています。また、滞納繰越分は6100万円と1800万円減少しています。徴収率は平成29年度93%と向上してお

り、徴収対策に取り組んだ成果が表れています。



▲納税に理解を

【委員会意見】

町税は町政運営の自主財源であり、確保することは住民サービスに恒久的、安定的に提供するための重要課題です。引き続き納税者の理解と公平で適正な課税をすることも、徴収率向上対策にも取り組んでください。

調査事項② 国保川崎病院改革の進捗状況 職員の能力向上に

【調査結果概要】

国保川崎病院は昭和30年から診療を開始し、高度経済成長期を経て、医療・福祉政策の充実・高度化を背景に、町の保健・医療・福祉の拠点「町医療福

祉センターやすらぎの郷」として、平成7年4月、現在の場所に健康福祉センターとの併設により移転・開所されました。

町内唯一の総合病院としての使命・機能を維持し、町民の健康増



▲医療の拠点、川崎病院

【委員会意見】

利用者から信頼される病院として、引き続き患者およびご家族への接遇向上に努めながら、職員個々の能力向上を目指してください。また、病院改革プランを推進し、ベッドの利用率が約82%に改善されたことは評価できます。今後は町内入院

患者の受け入れがスムーズに行えるように努めてください。

産業建設教育常任委員会 報告

調査日 2月18日

調査事項① 児童教室の利用状況と施設管理の現状 管理規則に沿い安全を

【調査結果概要】

町内4つの児童教室は、業務委託で川崎町社会福祉協議会が行い、職員数常勤8人、非常勤9人の計17人で運営しています。

利用者数は、川崎児童教室は平成28年度から毎年増加、他の3教室では横ばいで推移し、平成30年度は178人の児童が利用している状況です。施設は築40年経過し



▲安全安心を基石児童教室

【委員会意見】

業務委託していることから、課題となっている職員の人材確保を最優先に業務を行ってもらうよう協議してください。施設利用者定数の考え方は、学校児童数による割合や施設床面積に照らした算定など、

管理規則に明示するよう検討してください。子どもたちの安全と安心できる施設運営に重点をおき、定期的な危険箇所等の点検報告を、これまでどおり求めるなどの管理を検討してください。

調査事項② 学校給食の現状 食に対する保護者理解を

【調査結果概要】

町学校給食の栄養摂取量は、文科省基準値と比較し材料・調理方法などの理由で摂取が難しいもの以外は季節によりばらつきはあるものの、おおむね確保

されている状況です。心身の発達と食に関する正しい理解のもと学校給食事業が行われています。食べている町の児童・生徒の体位は、全国平均値と比べ小学校4年生ぐらいから「身長はやや低く、

体重は重い」という傾向となっています。



▲栄養バランスのとれた

【委員会意見】

体位の傾向が気になるものの、それに反し給食の食べ残しが多い学年が見受けられています。食品口スの課題がある状況です。委員会では学校給食を食しました。成人になるまでに必要とされる栄養価に配慮されたいおいしい給食です。「しっかりと食べ、たくさん体を動かす」「食べ残し」について食事のあり方を理解してもらえよう保護者にお知らせしてください。また、アレルギーを持つ児童・生徒への対応や放射性物質の測定は継続してください。

新年度予算のほかに、町から提案された条例の一部改正や平成30年度各会計予算の補正を審議し、全て可決しました。また、農業委員の選任に同意しました。新年度一般会計予算の風しん対策予算を補正することも可決しました。ここでは、その一部を紹介いたします。

すべて
可決

風しん 抗体検査・予防接種費用

260万円

■提案理由
風しん対策として、抗体検査・予防接種費用に260万5000円を追加するものです。

■提案理由
安定的な管理運営体制を構築するため、現在3年以内の指定管理期間を5年以内と改正するものです。

風しん抗体検査・予防接種まで

対象者

- 町居住
- S37年4月2日から
- S54年4月1日生まれ
- 男性

新年度はS47年4月2日からS54年4月1日生まれの方に無料クーポン券が郵送されます。

無料抗体検査の結果、抗体価のない方は、予防接種が受けられます。

※来年度以降はS37年4月2日からS47年4月1日生まれの方にクーポン券が郵送されます。
(詳細は町ホームページを確認ください)

病院長・副院長70歳に 定年延長

■提案理由
医師業務の特殊性・欠員の補充が極めて困難であるため、院長・副院長の職にあるものに限って、65歳を70歳に改正するものです。

スキー場指定管理期間5年以内に延長

■提案理由
安定的な管理運営体制を構築するため、現在3年以内の指定管理期間を5年以内と改正するものです。

●一般会計	補正額 1億2979万円 減	→ 50億7695万円
●国民健康保険特別会計	補正額 1877万円 増	→ 13億6596万円
●後期高齢者医療保険特別会計	補正額 244万円 減	→ 8246万円
●介護保険特別会計	補正額 1398万円 減	→ 10億8131万円
●温泉事業特別会計	補正額なし 歳入財源組み替え	→ 1184万円
●公共下水道事業特別会計	補正額 62万円 減	→ 4億7478万円
●病院事業特別会計	資本的収入支出補正額	212万円 減
●水道事業特別会計	資本的収入補正額	320万円 減

補正
H30年度各会計予算
事業精査確定による

農業委員会 委員11人選任



委員名	居住行政区
大松 一男	川内二
渡邊 一	野上
平間 正行	本荒町
大宮 正二	立野
石井 嘉満	前川東部
佐藤 健一	支倉下
高橋 裕一	支倉下
小原 学	本砂金
藤枝 喜久子	川内一
沖原 恵子	川内二
菊池 和子	本荒町

■提案理由
川崎町農業委員会委員選任同意
農業委員会などに関する法律の規定により、委員の選任について議会の同意を求めます。

同意



町政を問う

7人の議員が質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

- ◆ 佐藤 昭光 議員 17
 - (1) スキー場経営の戦略
 - (2) 新聞報道内容は
- ◆ 的場 要 議員 18
 - (1) GW 10 連休の対応
 - (2) 施政方針に係る観光振興
- ◆ 神崎 安弘 議員 19
 - (1) 財政計画も必要では
 - (2) 農業振興の考えは
- ◆ 眞幡 善次 議員 20
 - (1) 目指す川崎町のビジョンは
 - (2) 交流人口の増加策
- ◆ 佐藤 達也 議員 21
 - (1) 施政方針の具体策を
- ◆ 大沼 大名 議員 22
 - (1) 総合戦略での農業経営は
 - (2) 地域農業の振興強化策
- ◆ 高橋 義則 議員 23
 - (1) 川崎町の農業政策
 - (2) 施政方針

問 通年営業の戦略は

答 安定経営へ指定期間を延長

問 スキー場は、昨年9月開業したサマーゲレンデが出足好調でした。どう評価し、対応をしていきますか。

答 町長 潜在的なニーズを改めて認識しました。指定管理者は、期間を「3年以内」から「5年以内」に延長、余裕をもって募集し、6月会議で提案したいと考えています。



▲今後の集客に期待

問 指定管理料を年1200万円と400万円下げましたが、適正だとした理由は。

答 町長 算定要素は多くありますが、グリーンシーズン対策として昨年から始まったサマーゲレンデの収支等も加味し、最終的に算定しています。

問 利用者を拡大するための今後の営業戦略は。

答 地域振興課長 るぽぼ等と連携して多様な客を呼び込みたいと考えています。



佐藤 昭光 議員

問 「飲酒後に懇談会」実情は

答 記事どおり 広報紙で謝罪を

問 1月30日付の河北新報に「川崎町長 飲酒後に住民懇談会」との報道がありました。事実関係を伺います。

答 町長 新聞記事どおりです。軽率な行動で、心より謝罪します。



▲住民懇談会は町民が主役

問 8月27日当日から5カ月もたつて新聞記事になりました。この事実を軽く考えていたのではないですか。

答 町長 8月の懇談会では最初に参加者へ説明し謝罪をしました。11月の議会と町民の意見交換会まで町民から指摘がなかったため、理解をいただいたと考えていました。

問 首長は、不祥事には、自らが自らを律することが求められていると思いますが。

答 町長 多くの方から問題提起を受けました。次の町の広報紙で町民におわびします。

問 事情によっては飲酒することもあり得ることですが、その後の大事な会合に出席したのは、軽率といふより、もっと深刻な問題と思えますが。

答 町長 指摘のとおりです。



的場 要 議員

問 GW10連休の対応は

答 事前に何度かの告知を

5月1日に平成から新しい時代へ変わりま
す。それに合わせ、10
連休となることが参議
院本会議で可決され成
立しました。そこで、
以下の点について伺い
ます。

2019年GWカレンダー

日付	曜日	祝日
4月27日	土	
4月28日	日	
4月29日	月	昭和の日
4月30日	火	退位の日、国民の休日
5月1日	水	即位の日
5月2日	木	国民の休日
5月3日	金	憲法記念日
5月4日	土	みどりの日
5月5日	日	こどもの日
5月6日	月	振替休日

問 川崎病院の体制は。
答 町長 患者の不安解消や利
便性を考慮し、4月30
日を通常診療日としま
す。当日は午前8時30
分から午後5時15分ま
で、常勤医師による内
科、歯科の一般診療を
行う予定としています。

問 それぞれの対応を
お知らせする方法は。
答 町長 各担当部署で適宜対
応してありますが、今後、
広報紙などで周知を図
ります。

- GW** 4月27日～5月6日までの対応
- 役場窓口** 休日同様 警備員対応
 - ごみ収集** 収集カレンダー収集日のおとり
 - 町民バス** 連休
 - 川崎病院** 4月30日通常診療
午前8時30分から
午後5時15分まで
- ※広報「かわさき」も併せてご覧ください。

問 受け入れ環境の整備を

答 調査研究を進める

問 平成29年3月定例
会議で、Wi-Fiス
ポット、DMO*推進
協議会の取り組みと今
後の計画について質問
しました。現在の進捗
状況を伺います。

答 町長 今回の施政方針に
は「インバウンド」の
文字がありませんでし
たが、交流人口増加・
魅力発信には欠かせな
い取り組みの一つであ
ると考えますが。

問 多言語表記を含め、
受け入れ環境は必要だ
と思います。先日の県
南サミットで助成も含
め村井知事にお願ひし
たところです。

*DMOとは、地域と連携
して観光地域づくりを行
う団体のことです。



神崎 安弘 議員

問

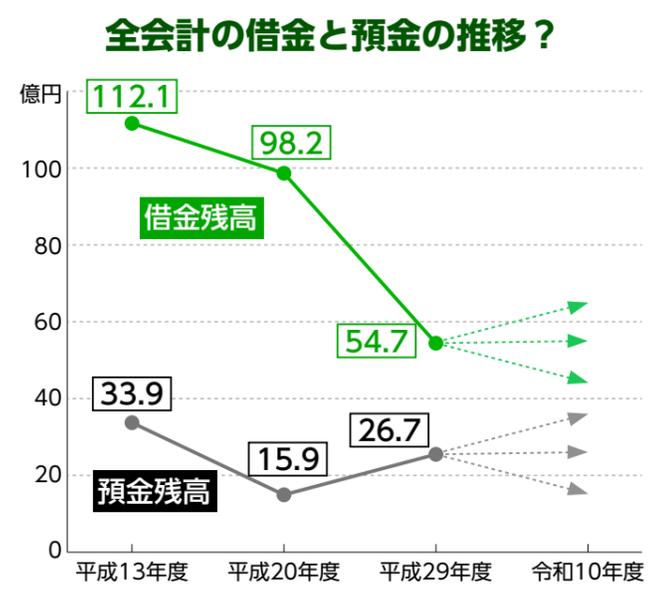
財政計画も必要では

答

総合計画に合わせ

議会では、平成30年
度予算に対し「財政計
画は将来の大規模事業
を見据え、老朽化の著
しい町施設整備の早期
検討を図り、優先順位
を決定する指標を整え
てください」と要望決
議しました。次の点に
ついて伺います。

問 「第5次長期総合
計画」、「まち・ひと・
しごと創生総合戦略」
の検証および次期計画
策定スケジュール、並
びに町民の関わりを持
つ手立てとは。
答 町長 これまでの取り組み
を検証します。町民の
関わり方等課題解決を
行い、ゆとりをもって
取り組めるよう次年度
早々に着手します。



問 公共施設等総合管
理計画の策定スケジ
ュールは。
答 町長 公共施設マネジメン
ト委員会を設置し、総
合管理計画、全庁全体
の把握と長期的な視点
での最適配置の方針、
個別施設計画カルテな
ど、平成32年度に策定
する予定です。

問 次期長期総合計画
策定および公共施設等
総合管理計画を基にし
た財政計画等を、町民
へ示すべきと考えます
か。
答 町長 安易に計画は立てら
れません。公共施設等
総合管理計画が策定さ
れば、財政計画策定
が可能になってくると
考えます。

問 農業振興と意欲向上策は

答 軌道に乗るための支援継続

施政方針では、需給
調整の推進と品質向
上、生産の安定と同時
に担い手確保・農地の
有効活用を図り地域営
農の推進に取り組むと
しています。

問 県をあげて進めて
いる「だて正夢」、「金
のいぶき」の当町での
取り組み状況と作付け
品種誘導策は。
答 町長 作付け予定面積は、
「だて正夢」15件の約
12ha、「金のいぶき」
2件の約0.6haです。
農協が一定規模以上の
農家に作付け意向調査
を行い選定しています。

問 新規農業者の対策
は十分ですか。また、
ブロッコリーやタマネ
ギ栽培への支援策は継
続するのですか。
答 町長 関係機関で構成する
「サポートチーム」によ
り指導、相談などを行っ
ています。
今後生産資材の補
助など軌道に乗るため
の支援を継続します。



眞幡 善次 議員

問 アイデア満載の道の駅を

答 皆の意見を聞き実現へ



▲期待される「道の駅」候補地

施政方針を聞き、町長が描く町の将来像、町民への思いが理解できました。町政運営に向けて次の3点について具体的に伺います。

問 道の駅構想は、みちのく杜の湖畔公園を活かした魅力あるものにする必要があります。例えば釜房湖周辺に、サイクリングロードやウォーキングロードを設置したらどうでしょうか。

答 町長 夢ある道の駅を開設するためにも、町民の皆さまをはじめコンサルティング業者の意見も聞き、さまざまなアイデアの中から実現性等を検討し、取捨選択し進めていきます。

問 観光振興においても、みちのく杜の湖畔公園との連携が最も大切だと思えます。どのように考えていますか。

答 町長 連携は町にとって大変重要だと思えます。昨年からは、みちのく公園内に町内のコーヒESHOPや食料品、雑貨販売等のイベントを開催し連携を図っています。

問 少子化対策は、町・地域・みんなで子どもを育てるという考えを持って、第3子以降は今まで以上に支援すべきだと思えますが。

答 町長 子育て家庭の経済的負担を軽減するため、第3子以降に対しても独自の施策で取り組んできましたが、改めて考えてみます。

問 交流人口を増やさない限り町の発展はありません。現在、姉妹都市の提携を結んでいるのか伺います。

答 町長 現在、姉妹都市の提携はありません。今後さまざまな観点から交流人口を増やす手立てを仕掛けていくつもりです。今のところ姉妹都市は考えていません。

問 スキー場やるほぼ等を利用した交流も大切です。また農家民泊等を取り入れ、都市と農村との交流なども考える必要があるのでは。

答 町長 今は閉校した小学校の活用やマラソン大会、そしてサマーゲレンデなどを魅力あるものにするのが現実的であると考えます。特に「道の駅」を開設して、新たな交流人口を生み出すよう全力で傾注していきます。

問

まちづくりのなかみは

答

慎重に取り組み理解求める

示された施政方針に気になる点があります。そこで具体策を伺います。

答 町長 私たちが想う「道の駅」を具現化するため、ノウハウや知見を有したプロフェッショナルの方々をはじめとして意見交換を行っていきます。多くの事例を見聞きし、構想を固め、課題解決の手法やスケジュールを示していきます。

問 税金の確保は財政運営の基本です。滞納が発生する前の周知徹底が必要では。

答 町長 広報紙などにより周知徹底を図り、口座振替・コンビニ納付についても普及・啓発に努めます。時代を担う児童・生徒にも、税の意義や役割を租税教室で伝えていきます。



佐藤 達也 議員

新年度予算ベース

学校給食費軽減制度に関する試算

第2子以降1/2減額・持参ごはんを公費負担とした場合

試算基礎の数値	給食単価	人数	給食回数	金額・回数
小学校児童数	230	347	190	15,163,900円
中学校生徒数	276	194	177	9,477,288円
合計	506	541	367	24,641,188円
対象見込み人数・第2子以降無償化予算額		184		8,138,688円
無償化を減額する割合				1/2

第2子以降無償化減額 1/2相当額	4,069,344円
1/2相当額で米飯単価を試算場合	
児童生徒一人当たり額	407万円/541人
給食回数平均値 (小・中学校合計÷2)	367/2
ごはんを持参する割合 (1週間ベース)	5回の内3回
持参ごはんを公費負担とした場合の回数	183.5回×6割
一回当たりの米飯単価	7,522円÷110回
	68.38円

問 町の子育て支援策をさらに充実させるため、以前完全給食に移した場合は試算を提示しました。その後の検討は。

答 町長 平成29年度に減免額788万円で試算しています。週3回の米飯を提供した場合434万円必要で、減免額の半額より高く、給食費の値上げにつながります。食材高騰もあります。現状のままを進めていきます。

問 町体協の登録者数は減少しています。新年度の振興の具体策は。

答 町長 体協とスポ少関係事業・教育委員会主催の大会・行政区スポレク活動奨励・総合型地域スポーツクラブ事業の4事業を柱に振興を図っていきます。また、幼児から高齢者までの生涯スポーツの振興に取り組みます。

問 「先生ひとり」で、40人の子どもたちと少数の子どもたちを見ている学校の偏りを気にしています。閉校などを考えたとき、全体のバランスもこの見解は。

答 町長 就学の学区は、町中の通学区域の規則で決められています。全体バランスを実行するためには、区域の変更・保護者の同意・通学手段などの問題があります。人数バランスより、町内の地理的条件を考えた通学区域でご理解ください。



高橋 義則 議員



大沼 大名 議員

問 総合戦略の課題は

答 組織化や高齢化など



▲収穫のよろこびを求めて

問「まち・ひと・しごと総合戦略」で農業経営の安定強化を掲げ、平成27年度から農産物の6次化や高付加価値化などに取り組んできました。進捗状況を伺います。

答町長
そばは県内有数の産地であることから、補助金を交付し町内の飲食店で消費拡大を図っているところですが、また、グリーンツーリズムとして、貸し農園の「すずらん農園」でイベントを開催し、交流を深めてきています。

問振興公社の設立は有効なら検討していく

答農林課長
JA、普及センターの技術の方々、町の農業技術指導員と一緒に各農家を回り、技術に興味のある方を育てながら指導しているところです。

問箱物だけでなく、住んでいる人、移住してくる人、遊びに来る人など、人に焦点を当てた農業振興をする必要があるのでは。

答町長
人が集まれる。人を呼び込める。また、人を育てられるまちをつくっていきけるよう努力していきたいと思えます。



▲仙南で唯一の角田市農業振興公社

問新年度の見通しや今後の課題を尋ねます。

問農業振興公社の機能を持った組織をつくる考えは。

答町長
6次化、高付加価値化を農業者個人で行うことは難しい状況です。今後、集落営農による集団化や法人化を図ることが重要であると考えます。

答町長
農業は基幹産業であり、農業を振興していくことは極めて重要です。今後、町の農業の発展のために公社設立が有効な手段と判断できる場合、取り組みを検討したいと考えます。

問

農業に機械導入補助を

答

町の財政を考慮し検討

当町の基幹産業の農業を守ることは、住民の生活環境を維持し、活力ある地域を保つためにも重要となります。そこで次の点を伺います。

問新規参入者が継続して従事するため、どのような支援を考えていますか。

問地域の担い手である農業従事者が継続して農業をするためには、農機具更新時に助成すべきと考えますが。

答町長
農業次世代人材交入金を交付しています。また、サポートチームをいかし、指導・相談など継続的な支援を行っていきます。

答町長
個人農家の農機具購入が大きな負担になっています。今後、町の財政を考慮しながら検討していきます。



▲農機具購入に助成を

問 地元を利用しているか

答 できるだけ町内の事業者へ

問施政方針のなかで「お買い物は川崎町で」と述べています。役場が必要なものをできるだけ地元から購入すべきと考えますが。

問町内商店・企業に、購入・委託を平等にすべきと考えますが。



▲お買い物は川崎町で

答町長
物品購入、業務委託等についてもできるだけ町内の事業者にお願ひしています。

答町長
そのことは非常に重要だと感じていますが、調達可能なものは町内の業者にお願ひするよう取り組んでいます。

特別企画 眠・コラボレーターと

議会広報コンクール 全国制覇を目指す



佐々木 和人さん

自分も子どもたちの成長を素敵な写真で残してあげたい!と思うようになったことです。

一眼レフに驚き

Q 写真を撮り始めたきっかけは。

A もともと写真に興味はありましたが、藤原さんがデジタル一眼レフカメラで撮影したものをみて「こんなにも違うものなのか」と感動しました。

正直不安しか

Q 議会から委嘱を受けたときの想いは。

A 自分にそんな大役が務まるのか、正直不安でした。自分の撮影技術に自信があるわけでもなく、貢献していけるだろうか、そんな想いが真っ先に頭をよぎりました。

写真に貢献できた

Q 全国第2位受賞の感想は。

A 議会の方々の熱意が実を結んだ結果だと思えます。そこに自分た



藤原 義信さん

議会では議会広報紙を充実するため、平成26年7月から議会広報コラボレーター(協力員)を委嘱しています。今回紹介するコラボレーターの2人には、議会広報紙写真(表紙・裏表紙)の協力をいただいています。今回の町村議会広報全国コンクール優秀賞(第2位)を機に、「さらに「町民ととも」をテーマに広報紙づくりを進めていきます。」

ヒントを合わせることで

Q 写真を撮り始めたきっかけは。

A 旧川内小学校に写真部があり、ヒントを合わせるのが楽しみでした。働くようになってからフィルム式のカメラを持ちましたが、現像にお金がかかるため思い切ってデジタルに買い替えました。

プレッシャーも感じる

Q 議会から委嘱を受けたときの想いは。

A 正直、自分でいいのかと思いました。SNSでやり取りをしている議員の方に声をかけていただきました。結構プレッシャーを感じるところもあります。あまり意識をせず普段のままやればと思いつながり受けました。

レベルアップできた

Q 全国第2位受賞の感想は。

A 委嘱を受けたときのコンクールで全国3位でも驚きましたが、今回は全国で2位と聞いたときは全てにおいてレベルが上がったんだと感じました。議員の方々の努力が結果に表れたんだと思います。

魅力あるよいまちに

Q 議会・町への想いは。

A とても魅力ある町ではあるので、ほかの町に負けない良いところ



全国第2位受賞

目にとまる一枚を

Q 今後の活動は。

A 子どもたちの成長や一瞬の表情、川崎町の自然豊かな風景など、みなさまの目にとめていただけるような一枚を切りとってあげたいと考えています。

自然をいかすまちを

Q 議会・町への想いは。

A 自然の素晴らしさをいかしたまちづくり、癒しのまちであり続けてほしいと願っています。そして、子どもたちが将来「川崎町出身です」と胸を張って言えるような明るい未来を期待しています。

初めて見る風景を

Q 今後の活動は。

A より多くの町民の方々に、まちの様子活動等広報紙をとおして見ていただき、こんなところこんな景色、風景があったのかと感じていただける写真を提供していきたいと思っています。

議員 議 発

次世代に引き継ぎ 現予算総枠範囲内で

1人減らし13人

■議員定数提案

議会は町政の意思決定機関として住民に直接責任を負う立場から、議会の機能と活力を低下させることなく、議会の使命と職責を十分に果たしていかねければなりません。また、地方分権時代による自治体権限の拡大に対応する重要性と新しい議会を創り出すため、若者や女性などの幅広い世代が議員を目指し、活動しやすい環境を整える必要があります。議員定数の見直しに

1万5000円増やし

■議員報酬提案

議員報酬の見直しにあたり、特別委員会でさまざまな角度から調査・検討を重ねました。また「町民との意見交換会」を町内6カ所で開催して議会の考えを説明し、一定のご理解をいただいたと考えています。さらに、議会基本条例に基づく第三者機関に諮問し慎重に審議していただいた結果、1万5000円増とすることを決しました。また「町民との意見交換会」を町内6カ所

2カ年にわたる 審議を経て



高校卒業後、埼玉県寄居町で研修。その後、実家の跡継ぎとして就農。酪農後継者グループの一人、大山和彦さんを紹介します。

※酪農家の後継者6人で、勉強会や飲み会、ボウリングを楽しむグループ。

かわさき想い人



親の背中

Q 酪農をやりたいと思っただけはいつごろからで、その理由は。

A 小学5・6年のころ、両親の背中を見て酪農をやりたいと思いました。

個体管理に目を

Q 研修では、どのようなことが勉強になりましたか。

A 乳牛を230頭従業員13人の大型農場で、リースツール[※]での経営を体験できました。個体管理に目を配ることが大切なので、牛の状態を確認するようになりました。

現場で学びを

Q 就農する前に研修をされたきっかけは。

A 実践大学も考えましたが、直接現場で学びたかったのです。理想とする経営を調べ、インターネットで検索した埼玉県寄居町を視察して決めました。

町の良さを再確認

Q 県外で研修した経験から、川崎町をどのように感じましたか。

A 川崎を離れてみると、緑豊かで環境が素晴らしく、静かな町だと改めて感じました。

将来への不安

Q 農業の現状についてどう思いますか。

A 地元の酪農家に後継者はいますが、農業全体としては高齢者が多くなり、将来への不安を感じます。

持続可能な農業

Q 町や議会に対して意見はありますか。

A 農業にもっと目を向けてほしいと思います。町の魅力を生かし、持続可能な農業政策に取り組んでもらいたいです。



おおやま 和彦さん (川内3)

※リースツールとは、牛をつながず自由に歩き回れるスペースを持った牛舎で管理し、搾乳するシステムです。

お知らせ

議会を傍聴してみませんか

議員は、議場でどんな発言をしているか。また、どんなまちづくりを考えているか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひお越しください。

※次回の会議は6月4日(火)
一般質問は6月5日(水)・6日(木)
午前10時、再開の予定です。

議会ライブ中継 配信中

(傍聴者は3月会議41人、4月会議0人、
ライブ中継は158アクセスでした。)

詳しくは、
議会事務局まで

TEL (0224) 84-2111
(内線1302)

私たちと意見交換を してみませんか

議会では、広く町民と意見を交換する機会を設けています。

希望される方は、議会事務局までお問い合わせください。



町の風景



輝かしい未来に

撮影 コラボレーター 佐々木和人さん

町民の方々の、町や議会に対するご意見ご要望大募集!!

表紙の説明

平成の広報表紙を飾った……

「令和の主演」

撮影 コラボレーター 藤原義信さん



発行 川崎町議会 編集 議会広聴・広報委員会
〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁175-1
TEL (0224) 84-2111・FAX 84-6789
E-mail: kawasaki2@town.kawasaki.miyagi.jp
印刷 株式会社津田印刷